

U.S. Indicators

米国 米製造業部門の好調持続（18年1月 I S M製造業景気指数）

公表日：2018年2月1日（木）

～受注・生産が高水準を維持しており好調持続を示唆～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

I S M製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
17/01	55.6	60.1	60.5	54.8	49.2	53.5	49.5	69.0	54.5	50.0
17/02	57.6	63.8	61.7	54.5	52.3	55.5	57.0	68.0	55.0	54.0
17/03	56.6	62.0	57.3	58.7	49.3	55.6	57.5	70.5	59.0	53.5
17/04	55.3	57.1	58.9	53.0	51.6	55.9	57.0	68.5	59.5	55.5
17/05	55.5	60.0	57.5	53.3	52.1	54.4	55.0	60.5	57.5	53.5
17/06	56.7	61.3	60.9	56.3	49.0	55.7	57.0	55.0	59.5	54.0
17/07	56.5	61.0	60.4	55.8	49.2	56.0	55.0	62.0	57.5	56.0
17/08	59.3	61.8	62.0	59.8	55.7	57.4	57.5	62.0	55.5	54.5
17/09	60.2	64.4	61.9	58.7	52.6	63.4	58.0	71.5	57.0	54.0
17/10	58.5	63.5	61.0	59.8	48.1	60.1	55.0	68.5	56.5	54.0
17/11	58.2	63.9	64.3	59.2	47.1	56.6	55.0	65.5	56.0	54.5
17/12	59.3	67.4	65.2	58.1	48.5	57.2	56.0	69.0	58.5	57.5
18/01	59.1	65.4	64.5	54.2	52.3	59.1	56.2	72.7	59.8	58.4

(出所) I S M : the Institute for Supply Management

製造業景気指数は59.1 と前月比0.2%ポイント 低下にとどまり高水 準

18年1月のI S M製造業景気指数（季節調整値）は、59.1と前月比0.2%ポイント低下したが市場予想の58.6を上回ったうえ、高い水準を維持しており、製造業部門の好調持続を示した（筆者予想58.2）。ドルが実効レートで高い水準にとどまっている影響を受けながらも、国内需要の堅調さ、原油価格の上昇による石油掘削リグの稼働数の増加（ボトムからの水準切り上げ）、世界的な需要の拡大等を背景に、米国製造業部門の活動は活発化している。

総合指数を構成する項目では、入荷遅延、在庫が上昇したものの、新規受注や生産のほか、雇用が低下した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、在庫（前月比+0.76%p）、入荷遅延（前月比+0.38%p）が押し上げ寄与となった一方、雇用（前月比▲0.78%p）新規受注（前月比▲0.40%p）、生産（前月比▲0.14%p）が押し下げ寄与となった。もっとも、重要な項目である新規受注や生産が内外需の堅調さを映じて高い水準で推移しており、製造業部門が良好な状態を当面維持することを示唆している。

一方、インフレ面では、新規受注や生産の拡大、悪天候などを背景とした入荷遅延の強まりや商品市況の上昇によって仕入価格は高い水準を維持しており、川上でのインフレ圧力が強まっている。

全18業種中14業種が 拡大した

総合（全18業種、下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）で拡大した業種は、繊維、加工金属、プラスチック・ゴム、一次金属、一般機械、輸送機器、アパレル、化学製品、コンピューター・電子機器、紙製品、石油・石炭、電気設備・部品、その他製造業、食品・飲料・タバコの14業種と前月の16業種から減少したが、多くの業種で拡大しており、製造業は広がりを持った拡大となっている。縮小した業種数は、印刷・関

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

連サポート活動、木材製品、家具・同関連、非鉄の4業種（前月2業種）となった。

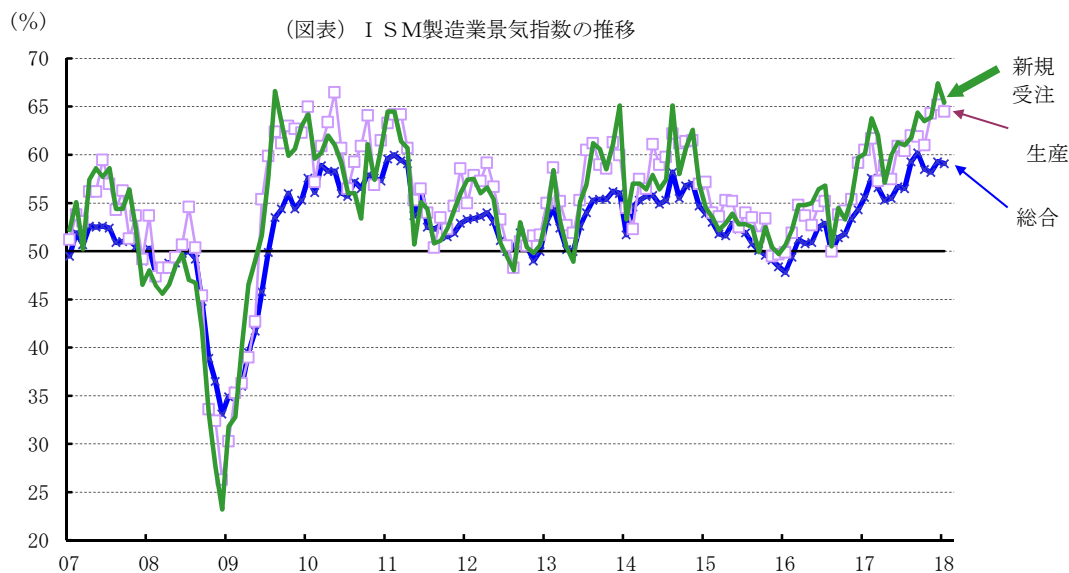
コンタクト先からの報告は、良好な経済情勢を指摘する内容

コンタクト先からの報告は、1月も前向き内容が目立った。化学製品では、Q1の内外の売上は強く、我々の設備投資は前年よりも30%から40%増加していると指摘されたほか、一般機械では、最近の税率の引き下げによる事業拡大の報告を聞いたと指摘された。また、コンピュータ・電子製品では、事業見通しは全ての面で現在前向きで、新しいプロジェクトへの支出が承認されたほか、サプライヤーからの部品価格は一時的に安定していると報告された。家具・同関連製品では、例年の冬の減速はみられず、新しい注文で非常に忙しいと指摘され、加工金属では、2018年は緩慢なスタートとなったが、金属価格は上昇、相場や注文も引き続き増加していると報告された。

さらに、輸送機器では、全体的に事業は安定、業界でいくつかの重要なプログラムが始まっており、2018年の見通しは良好と指摘された。食品・飲料・タバコでは、雇用が厳しいと報告。紙製品では、事業が引き続き強くなっていると指摘された。プラスチック・ゴム製品では、事業は強いスタートになっている、消費者の信頼感が多くの我々の顧客の注文要件を押し上げていると報告された。

製造業景気指数は当面高水準を維持する公算

今後もドル高や中国経済の減速など需要の伸びを抑制する要因が残存するも、雇用・所得の増加や資産価格の上昇等による個人消費の拡大や、企業業績の改善などに伴う設備投資の増加を背景に、米景気の堅調さが持続するとみられる。また、海外需要は堅調さを維持する公算が大きい。以上より、ISM製造業景気指数は、当面高い水準を維持すると予想される。



(出所) ISMデータより当社加工